

女川原子力発電所 2 号機第 6 回定期検査主要機器点検情報

(平成 15 年 10 月分)

No. 1

1. 件 名: 原子炉再循環ポンプ (B) 出口弁および入口弁点検について

2. 月 日: 平成 15 年 10 月 9 日 (木)・10 日 (金) (発生 (発見) 確認)

3. 場 所: 原子炉建屋

4. 設 備: 原子炉再循環ポンプ (B) 出口弁および入口弁

原子炉再循環ポンプ (B) 出口弁および入口弁は、ポンプの分解点検などを行う際に、ポンプを隔離するための弁としてポンプの入口側および出口側に設置されている。通常運転中は、全開状態になっている。

5. 所 見: ・原子炉再循環ポンプ (B) 出口弁の軸封部から配管を通して、原子炉格納容器内サンプ (水槽) へ水が流入していること、および弁棒に傷が確認された。

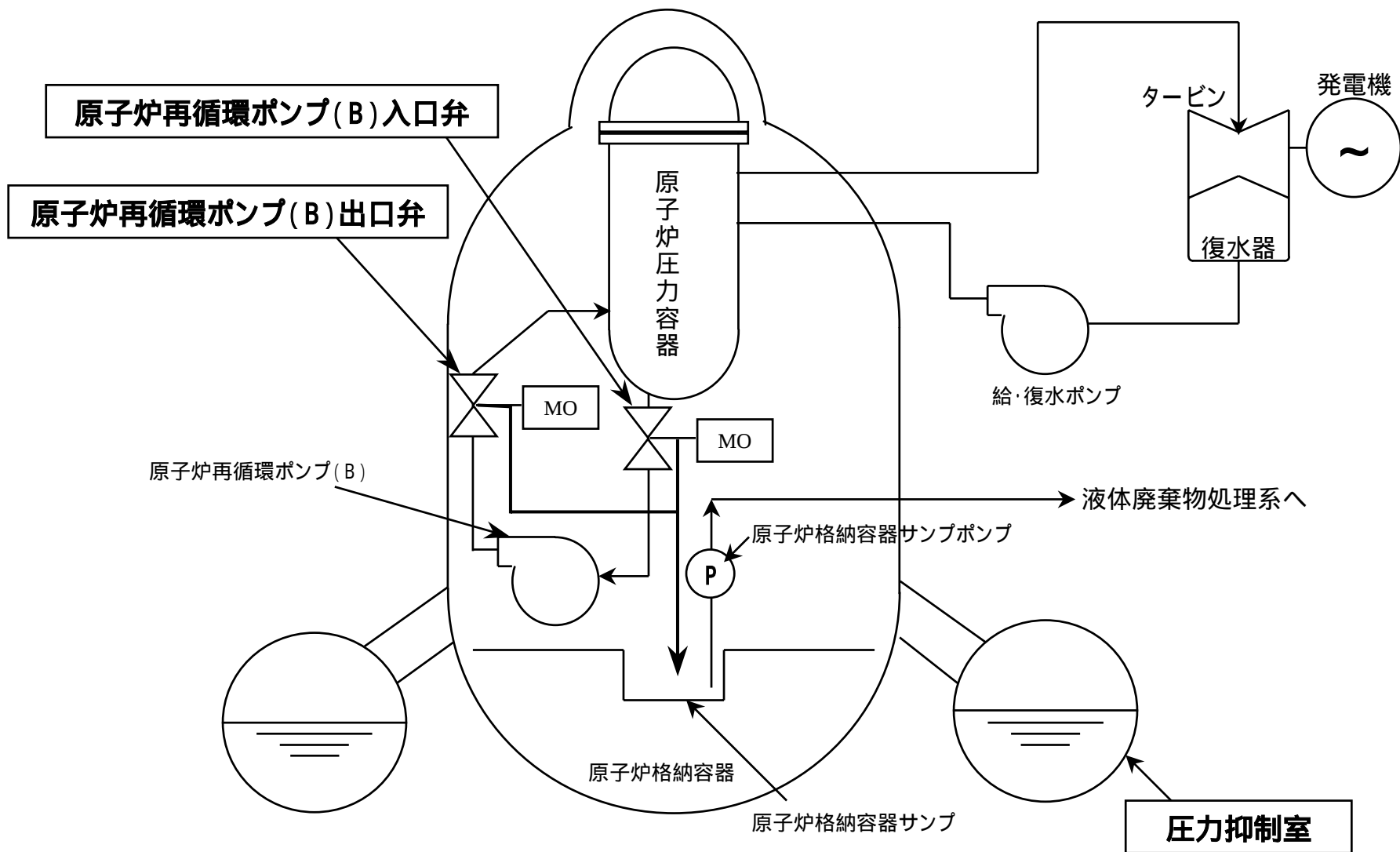
・類似の弁の外観点検を行ったところ、同ポンプ (B) 入口弁の弁棒にも傷が確認された。

・原子炉の水抜きを行い両弁の分解点検を行ったところ、出口弁の弁棒および軸封部、および入口弁の弁棒に傷が認められたが、弁体等それ以外の部分には損傷は認められなかった。

・出口弁の弁棒および軸封部が傷ついた原因は、前回定期検査時に分解点検を実施した後、当該弁の再組み立てを行った際に、微細な異物が弁棒と軸封部の間に混入し、それが弁を開閉操作した時に弁棒および軸封部を傷つけ、その後の弁の開閉操作により傷が拡大し、原子炉格納容器サンプへの水の流入に至ったものと推定される。

・入口弁の弁棒に傷がついた原因についても、出口弁の場合と同様であると推定されるが、その程度は軽いものであった。

・異物混入防止策を更に徹底し、出入口弁の弁棒、軸封部等を新品に取替えた。



原子炉再循環配管系統概略図

